（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	あんあんclass白石中央ルーム			
○保護者評価実施期間	令和6年年12月2日		～	令和7年年1月15日
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	23	（回答者数）	16
○従業者評価実施期間	令和7年年1月4日		～	令和7年年1月20日
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	10	（回答者数）	9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年年1月28日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子ども達が利用を楽しみに通い、安心して通える場所になっている。 保護者さんから相談を受け入れやすい。 保護者参加のレクリエーションの充実。 茶話会の開催。	子どもの気持ちを尊重する事を大事にしている。 先ずは子どもの気持ちを汲む事、寄り添う事を大事に対応している。 障がいではなく、その子一人ひとりの個々の成長・発達をみている。 親同士の関わり、横の繋がりを大事にする。	個別療育の充実。 保育所等訪問支援の実施。 アセスメントの強化。 学校や幼稚園との情報共有。
2	言語聴覚士によるセラピーを定期的に受ける事が出来る。	保護者の不安に寄り添う。	STの少人数グループ訓練の実施。
3	グループ内に様々な専門職の職員がいる。	専門職の職員のアドバイスを基に療育に取り組む。	専門職員により研修の実施。具体的指導。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	人員不足。	個人の問題もあるが、発達障がいの理解がないまま入職し、対応の難しさから辞めていく職員は多い。	児童数に対して人員が足りていないので、人員が足りない場合は児童の受け入れを制限する等の対応も必要になるかと思う。
2	職員の質(差がある)	人員不足により療育の質の低下 個人の意識の違いもある 向き不向きはある 「子どもが好き」だけで出来る仕事ではない(発達障がいに関する知識も必要とする為)	研修の実施 各自勉強する事も必要
3	研修の充実	研修自体が少ない。 研修参加の時間の確保が難しい。	職員の補充

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	あんあんclass白石中央ルーム

公表日　令和７年　2月　1日

利用児童数 23名　　回収数　１６名

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	15			1	・広々としていて走り回れて子どもが喜ぶ。	
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	9	2		5	・何人配置しているのか分からない。 ・あまり見る機会がない為分かりません。 ・一人で複数人送っている時は少し心配。	管理者１名/児童発達支援管理責任者１名/基礎職員３～５名 加配職員１名 平均して５名～８名の職員で対応しています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	1		3		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	16				・広くていつもキレイです。先生方も清潔感があります。 ・いつも綺麗にされている印象です。	子どもの特性等によって構造化をする等しています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	2			・大変満足しています。 ・すごく深くまで見て理解してくれています。 ・言語の日を月３にして頂けると嬉しい。	白石中央ルームでは24名(全体の約8割)のお友達が言語訓練に取り組んでいます。1回のセラピーを30分前後、記録や連絡ノート記入で一人に付き約1時間要します。その他に計画書の作成等も入ってきますので、大変申し訳ないのですが、全員を月3回に増やす事は難しいです。 ですが、言語訓練を増やして欲しいというお声は常にありますし、そのお気持ちも理解しているつもりではあります。セラピー自体は月2回ですが、セラピーの中で取り組んでいる事を普段の療育の中でも取り入れ言葉の発達に繋がるよう対応させて頂いております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	16					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	16					
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	15			1		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	16				・とても力を入れてくれています。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	1			・個別課題が固定化しているように思う事がある。	
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	1	1	9		
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	14	2			・いつも丁寧にしてくれます。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9		3	4	・機会があれば参加させて頂きたいと思います。	今年度は保護者さん向けの研修を実施する事が出来ませんでしたが、今後は保護者さんも参加出来るような研修会の開催を検討していますので、その際は是非ご参加下さい。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15	1			・送迎時に詳しく教えてくれます。 ・電話や送迎時に情報共有してくれている。	その日の状況(職員・子ども含め)によって連絡ノートの記入が出来ず申し訳ありません。送迎の際に聞けなかった事や気になる事等ありましたら、遠慮なくご連絡依下さい。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15	1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14	2			・否定せず肯定してくれます。 ・親身になって支援してくれている。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	1		2	・機会がなかった訳ではありませんが、上手く活用する事が難しかったと考えています。 ・兄弟にも優しく話し掛けてくれます。	茶話会や兄弟も参加出来るようなイベントを開催して欲しいというお声を頂いている中で、その様な機会を多く設ける事が出来ず申し訳ありません。特に茶話会につきましては、皆さん交流を楽しんでいる様子が伺えましたので、今後は茶話会の機会をもう少し多く設けていけたらと考えております。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	2			・改めて相談する機会をこちらが持つべきであったと感じました。 ・スタッフ間で情報が共有されていないのかなと思う時がある。	保護者さんからの相談や申し入れに対して職員間で周知・共有が出来ていなかったり、確認不足でご迷惑をお掛けしてしまうような事が時折ありました。職員の入れ替わりの際にそのようなミスが多くみられていましたので、一人一人に直接伝えたりWチェックをする事でミスがなくなるよう対応していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	15	1			・電話や送迎時に色々とお話出来る。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13		1	2		定期的に紙媒体でのお便りを出して欲しいとのお声も頂いておりますが、現状その時間を確保する事が難しく、今後も紙媒体でのお便りを発行する予定はありません。ホームページのブログを見て頂けたらと思います。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	2		1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	1		4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	11			5		毎月１回は取り組んでいますが、お子さんの利用回数・利用状況によっては、まだ参加した事がないのでは・・・と思っている保護者もいるかと思います。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	13			3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	14	1		1	・転んだ際に出来た小さな傷でもその日に報告してくれる。	
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか 。	16				・そのように見受けられます。 ・いつもニコニコしながら通っている。 ・先生方が大好きな様です。	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16				・楽しみにしている様子です。 ・一度も行き渋る事なく通っている。 ・いつも楽しかったと言って帰ってきます。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	16				・満足しています。 ・長期休み等一日中利用させて貰えるので親としても助かるし、子どもも喜ぶ。 ・とても満足しています。	

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	あんあんclass白石中央ルーム

公表日　令和７年　２月　１日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	2		長期休みはのびのびと、とはいかない感じ
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	2	7		職員の急な休みにより適切ではない時がある。 もう少し人員に過剰があればもっとより良い対応が出来ると思う。 指導員が増えてもらえるとありがたい。 職員不足。 職員が足りない。その為十分な療育ができない。職員足りなくて負担が多い。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	2	子どもの特性によってスケジュールを提示。活動部屋と休憩部屋(おやつ・昼食)と分けて使用したり、荷物入れは一人ひとりの写真を用いる等して部分的に構造化を取り入れています。	もっと工夫出来ると思うので頑張りたい
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	1		いつも決まった先生が綺麗にしてくれているような感じがする 片付けの徹底を
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか 。	8	1		部屋数が足りていないと思う。個別対応できる所がない。 一人で使う事は難しい状況(他児も使用したいとなる為）ではあるが、職員の人数によっては使用可能。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	2		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9			管理者・児発管が相談しやすい人柄で有難い
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	3		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9			毎月内部研修は開催されているが、外部の研修を受ける機会は少ない。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	9			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9			支援する側が必要と考える支援内容と、保護者側が取り組んで欲しいと考える支援内容に相違がある時がある。その溝を埋める事で方向性を統一し、より効果的な療育が提供出来るのではないかと思います。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6			自発的に皆が確認しているかと言われると微妙 100点とは言えない
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	2		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	1		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	2	子どもの特性や発達段階、その日利用する子ども達をみてプログラムを立てています。	継続する事でみえてくるものがある為、固定化がいけないという考えはない。 同じ活動を繰り返し行う中で少しずつ変化を加える事で子供の応用力をみる事もある。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	7	2		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1		会議は殆どない。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	3		幼稚園・保育園との連携はある。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	2		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	4		
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7	2		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1	今後は保護者向け研修会の開催や茶話会を予定しています。	

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	9			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	9			
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9			ブログの更新等行っている。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	7		住民を招待する等はないが、ハロウィーンの際に近隣の商店等に協力して貰ったり、でっち奉公で中学校の職業体験の受入れ、ボランティアの受入れ、を行っている。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9			契約の際に確認し、児童表の中にも記入欄がありますので、そちらで確認しています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	1	契約の際に確認し、アレルギー調査表を提出して貰っています	現在はいない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	9			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9			
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8	1		対象となる児童は現在いない。